

Safety Data Sheet

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 混合物
製品名称 : 次亜塩素酸分子水溶液生成パウダー (PHA)
製品番号 (SDS NO) : PHAP010
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 業者用生活用品の消臭・除菌
使用上の制限 : 用途以外の使用はお控えください
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : 合同会社ヒポクラテス
住所 : 〒111-0053 東京都台東区浅草橋三丁目28番12-303号
担当部署 : 研究開発部
電話番号 : 03-3861-2561
FAX : 050-3852-4496
e-mail : ishida@hipoclates-labo.com

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)に基づく分類

健康に対する有害性

急性毒性 (吸入) : 区分 3

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 1

GHSラベル要素

Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)に基づくラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷重篤な眼の損傷

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- 環境への放出を避けること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- 漏出物を回収すること。
- 特別な処置が必要である。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	化学式
リン酸塩 (食品添加物)	7778-77-0	< 60	1-452	KH ₂ PO ₄
次亜塩素酸塩 (食品添加物)	7778-54-3	< 35	1-177	CaCl ₂ O ₂
有機酸 (食品添加物)	非開示	< 3	-	-
無機塩類 (次亜塩素酸カルシウム原料の不純物として)	-	< 5	-	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

次亜塩素酸カルシウム

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

次亜塩素酸カルシウム

GHS分類区分に該当する危険有害成分

次亜塩素酸カルシウム , 水酸化カルシウム

腐食シンボル該当成分

次亜塩素酸カルシウム , 水酸化カルシウム

どくろシンボル該当成分

次亜塩素酸カルシウム

環境シンボル該当成分

次亜塩素酸カルシウム

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

直ちに医師に連絡すること。医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(注意事項)

- 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避データなし

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

- 飲食物、動物用飼料から離して保管する。
- 乳幼児の手の届かないところに保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(水酸化カルシウム)

ACGIH(1979) TWA: 5mg/m³ (眼、上気道及び皮膚刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 粉粒体

色: 白色 臭い: 微臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし 沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし 分解温度データなし

pH: 中性

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 混和する

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし避けるべき条件

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

male rat LD50=790mg/kg (SIAR, 2006)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

rabbit LD50 >2000mg/kg (SIAR, 2006)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 3, 吸入すると有毒

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

dust: rat LC50=1.202-1.423mg/L/1hr (換算値 0.301-0.356mg/L/4hr) (SIAR, 2006)

労働基準法: 疾病化学物質

水酸化カルシウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

腐食性 (次亜塩素酸イオン/ アルカリ性) (AICIS IMAP, 2015) et al.

(水酸化カルシウム)

ヒト 中等度又は軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

皮膚腐食性/刺激性区分1 (GHS分類結果)

(水酸化カルシウム)

眼腐食性 (IUCLID, 2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

気道刺激性 (GESTIS, Access on August 2020)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 1, 水生生物に非常に強い毒性

区分 1, 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) LC50=0.005-0.006mg/L/48hr (SIDS, 2006)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(次亜塩素酸カルシウム)

魚類 (ウグイ) NOEC=0.005mg/L/133days (SIDS, 2006)

水溶解度

(リン酸塩)

22 g/100 ml (ICSC, 2005)

(次亜塩素酸カルシウム)

21 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2005)

(水酸化カルシウム)

溶けない (ICSC, 1997)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし生体蓄積性

生体蓄積性

データなし土壤中の移動性

土壤中の移動性

データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当):

該当特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類)

次亜塩素酸カルシウム; 水酸化カルシウム

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

次亜塩素酸カルシウム

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

次亜塩素酸カルシウム

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物



名称表示危険/有害物

次亜塩素酸カルシウム(別表第9の200)

名称通知危険/有害物

次亜塩素酸カルシウム(別表第9の200)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH) JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改

訂

される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合

に

は十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度 (2021年度))です。